

# 令和4年度 徳島大学社会基盤デザインコースにおける授業を補う試み ー夏休み企画！建築模型づくり体験講座ー 実施報告

常三島技術部門  
ものづくりグループ

## 1. はじめに

2008年11月に建築士法の改正により「建築又は土木に関する課程を修めて卒業する」から「大臣が指定する建築に関する科目を修めて卒業する」に変更となり、建築士試験受験のための学歴要件を満たすため、徳島大学工学部建設工学科は2009年度から土木と建築を学ぶことができるコースとなった。(2016年の改組により、現在は徳島大学理工学部理工学科社会基盤デザインコースである。)

しかし、建築学関連科目は他大学と比べると非常に少なく、建築模型づくりをカリキュラムに入れることが困難。もし授業に取り入れたとしても多くの履修学生の模型材料を揃えと手取り足取り教えることが現実に無理である。また、就職で建築設計関連に進む予定の学生がカッターの使い方、建築模型を使った経験が無いまま卒業していくことが課題であった。そこで今回、建築模型づくりのテクニックや製作手順を学生に伝授し、きれいに上手につくることを目指し、初めての試みとして夏休み企画！建築模型づくり体験講座を開催したので報告する。

## 2. 開催概要

- 講座名：  
令和4年度  
夏休み企画！建築模型づくり体験講座
- 日時：令和4年8月10日（水）  
09：00～17：00
- 会場：徳島大学常三島キャンパス  
建設棟3階 A303 大セミナー室  
A316 小セミナー室
- 講師：河村 勝（一級建築士）
- 協力：徳島大学建築サークル AUT 学生 6名
- 講座参加者数：社会基盤デザインコース  
学部生 7名

河村 勝 (KAWAMURA Masaru)

・スケジュール：

- 09:00-09:10 あいさつ
- 09:10-12:00 テクニック編(テクニック伝授)
- 12:00-13:00 昼休憩
- 13:00-17:00 実践編(ノウハウと製作手順等)

## 3. 開催への準備

### 3. 1 協カスタッフの確保

筆者が指導している建築サークル AUT (アウト) の学生に協力依頼

→模型づくりの上手な6名を確保。

### 3. 2 フライヤーづくり (図1)

フライヤーを作成し、e-Learning システムで学生にアナウンス。



図 1 フライヤーと manaba

### 3. 3 教材づくり (図面および説明用パワーポイント資料) (図2, 図3)

時間内に製作可能な模型の検討、模型試作と資料用写真撮影。

午前：テクニック編@サイコロづくり  
わかりやすいようあらゆるテクニックを記載。

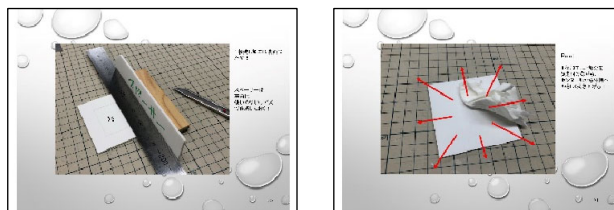


図2 テクニック編PPT資料 (全41枚)

午後：実践編@木造住宅 2 階建てロフト付 1LDK づくり

ここでもテクニックを記載，手順ポイントを詳しく説明。

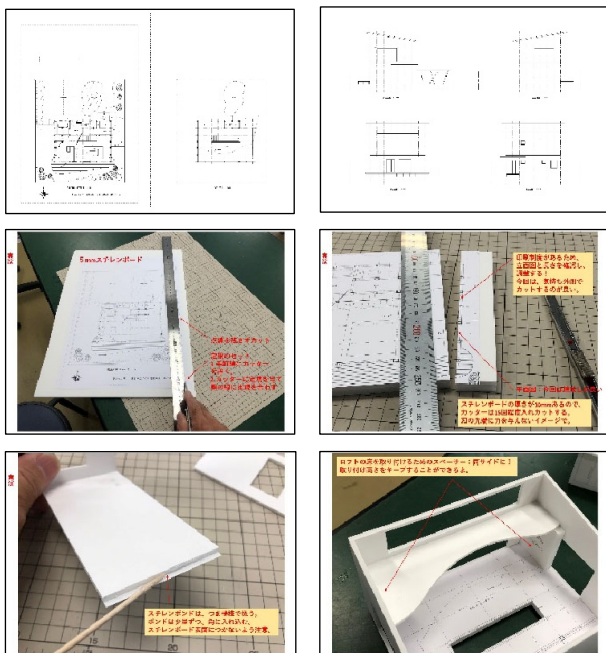


図3 実践編 PPT 資料 (全 116 枚)

### 3. 4 事前スタッフ教育

・スタッフを集め，1 日をかけて講座内容説明とテクニックのおさらい練習。

→直角切り，開口切り，1 枚残し，接着方法，スペーサー使用。

・教える側の立場として，わかりやすい理解しやすい説明，優しく，丁寧に心をかける指導を行った。

### 4. 実施状況

#### 4. 1 第 1 部 (午前) テクニック編：サイコロづくり (図 4)

1. 手本であるサイコロ (立方体) 模型を見てもらった。

2. PPT 資料を使い模型をつくるための道具および模型材料を説明。

3. カッターの使い方，替え刃の交換方法と交換時期を説明。

4. 基本となるカッターの持ち方，力の入れ具合などテクニック説明。

5. カッターの持ち角度，目線などテクニックを教え，厚みの異なるスチレンボードの直角

切りのテクニックと実演及び習得のための猛特訓。

6. スチレンボード開口部あけのテクニックと実演及び猛特訓。

7. スチレンボード 1 枚残しのテクニックと実演及び猛特訓。

8. きれいに上手にを意識して立方体のサイコロづくりを行った。

9. 最後に，出来栄評価をおこない 1~3 位を表彰。クオリティー的に全員合格であった。



図4 サイコロづくりの様子と完成模型

#### 4. 2 第 2 部 (午後) 実践編：木造住宅 2 階建てロフト付 1LDK づくり (図 5, 図 6)

1. 手本である木造住宅 2 階建てロフト付 1LDK 模型を見てもらった。

2. 製作にあたりポイントを重点的に説明。

3. PPT 資料を使いまず，模型をつくる手順方法を検討しておく必要があることを説明。

4. 第 1 部で伝授したテクニックを踏まえながら作成方法を説明。

5. 各自住宅模型づくりを行った。

6. 最後に，出来栄評価をおこない 1~3 位を表彰。これもクオリティー的に全員合格。



図5 住宅模型づくりの様子



図6 住宅模型づくりの様子

## 5. 学生へのアンケート調査・結果（表1）

回答者：参加した学生7名（学部生1年1名，2年1名，3年5名）。

表1 アンケート調査結果

(1) 学年	1年	2年	3年		
	1	1	5		
(2) 性別	男性	女性			
	2	5			
(3) 本日の講座について（総合的に）	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満
	7	0	0	0	0
(4) 本日のスケジュールについて	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満
	5	1	1	0	0
(5) 講座の内容について	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満
	7	0	0	0	0
(6) 講師の説明について	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満
	7	0	0	0	0
(7) スタッフについて	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満
	7	0	0	0	0
(8) このような講座が開催される場合、今後も利用したいですか	参加したい	やや参加したい	どちらともいえない	あまり参加したくない	参加したくない
	6	1	0	0	0

### 1. 講座及び内容について

・講座について，講座の内容について，全員が「満足」と回答。

・大変であったが楽しかった。住宅模型まで作れてよい経験になった。とても勉強になったなど意見があった。

→高評価がもらえ，初めての試みの講座として目標達成できた。

### 2. 講師及びスタッフについて

・講師の説明，スタッフについて，全員が「満足」と回答。

・優しく，丁寧に，親身に教えてくれたと回答。  
→事前準備したとおりのイメージで説明，実演指導ができた。

### 3. 自由意見について

・受講理由は，一度は体験したかった，経験したかった，模型づくりがしたかった，面白そうなど回答があった。

→模型づくりをしたかった学生が受講してくれたことが嬉しい。

## 6. さいごに

今回，建築サークルAUTの学生6名の協力のもと，初めての試みとして夏休み企画！建築模型づくり体験講座を開催した。7名の学生が参加し，定員割れが功を奏しマンツーマンで教えることができ，この1日で確実に模型製作の技術を習得してくれたと思っている。来年度以降も継続的に開催を考えているが，指導するスタッフの確保が課題である。